

2. 整備事業

1 産地競争力の強化に向けた取組

(山梨県 平成25年度)

市町村名	事業実施主体名	メニュー (対象作物・畜種等名)①	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況①				成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				現状値(平成23年度推計値)	1年後(平成24年)	2年後(平成25年)	目標値(平成25年)				達成率	交付金	都道府県費	市町村費				
山梨県	山梨県	鳥獣被害防止施設 水稲 ぶどう もも なす等 ニホンザル イノシシ ニホンジカ	被害面積 62.8ha 被害金額 73,868千円 (柵の実施箇所) 被害面積 12.4ha 被害金額 20,032千円	被害面積 64.5ha 被害金額 83,806千円 (柵の実施箇所) 被害面積 20,032千円	被害面積 61.8ha 被害金額 71,384千円 (柵の実施箇所) 被害面積 3,909千円	被害面積 44.0ha 被害金額 51,708千円 (柵の実施箇所) 被害面積 14,022千円	被害面積 5.3% 被害金額 11.2% (柵の実施箇所) 被害面積 276% 被害金額 268%	市町村全体の被害面積・被害金額はともに若干の軽減であったが、柵の実施箇所においては被害面積・被害金額ともに減少し、被害軽減を図ることができた。	鳥獣被害防止施設 混合柵 網H=2.3m、うち電線3段 L=23,550m 防止柵 網H=2.3m L=10,595m	550,000,000	301,750,000	160,650,000	87,600,000	平成25年3月25日	目標年度における市町村全体の被害金額と被害面積については、実施箇所以外で年々増加する鳥獣被害により県全体での成果目標は達成できなかったが、柵の実施箇所においては、野生獣の被害が軽減され、効果が現れている。今後も、市町村・地元と連携を図り適正な維持管理に努めると共に、引き続き被害防止に向けた対策を進め、被害の軽減を図っていきたい。			
北杜市	北杜市	鳥獣被害防止施設 ブドウ(醸造用) ニホンザル、イノシシ、ニホンジカ、ハクビシン等小動物	被害面積 31.7ha 被害金額 42,667千円 (柵の実施箇所) 被害面積 — 被害金額 —	被害面積 32.0ha 被害金額 43,642千円	被害面積 23.1ha 被害金額 34,411千円 (柵の実施箇所) 被害面積 0ha 被害金額 0千円	被害面積 22.2ha 被害金額 29,867千円	被害面積 90.5% 被害金額 64.5%	今回の事業導入による柵については、100%守ることができている。市全体では、被害面積・金額ともに減少した。	鳥獣被害防止施設(自力施工) ネット柵通電タイプ H=2.2m L=1,500m	2,569,000	2,569,000			平成25年3月5日	鳥獣被害の被害は甚大であり、被害を受けても被害報告を行わず、耕作をあきらめる農家の人が増えている。市では、地域連携協議会を中心に地域の獣害防止教育や里守り犬の育成、追い払い活動などや防止柵に対する補助を行い農業者の意欲が減退しないよう対策を図っている。また、国・県の圃場整備事業を取り入れ鳥獣害の住みかと思われる耕作放棄地を強固な柵を施した優良農地に整備を図るなど複合的な対策を行い、徐々に被害面積・金額が減少しているが、引き続き、鳥獣被害がこれ以上増えないよう対策を強化していく必要がある。	目標年度(H25)における被害金額については、近年のニホンジカ等の個体数の増加等に起因し、目標を達成できなかったが、被害面積の達成率は、90.5%と目標を達成し、特に柵を設置した地域を中心に事業の効果が現れていると考える。結果、目標年度(H25)の目標値における被害面積の達成率は、70%を超えており、目標は概ね達成されたと考える。今後も、住民主導による被害防止対策の確立を目指し、被害防止に向けた対策を進め、現状の改善を進めていただきたい。		
甲州市	甲州市	鳥獣被害防止施設 ブドウ モモ スモモ ニホンザル イノシシ ニホンジカ、	被害面積 2.21ha 被害金額 4,105千円 (柵の実施箇所) 被害面積 — 被害金額 —	被害面積 1.99ha 被害金額 3,695千円	被害面積 2.30ha 被害金額 3,600千円 (柵の実施箇所) 被害面積 — 被害金額 —	被害面積 1.55ha 被害金額 2,874千円	被害面積 -14% 被害金額 41%	今回の事業導入による柵については、被害対策上大きな効果があったことあり、市全体では、被害金額が若干の減少であった。	鳥獣被害防止施設 電気柵増設(4段) L=4,408.8m	71,780,100	35,000,000		36,780,100	平成25年3月22日	防護柵の整備により設置箇所における被害は減少した。更なる被害の減少と対策の継続性を目指し、今後は市全体への防護柵の設置を行っていく必要がある。	目標年度(H25)における被害金額及び被害面積については、柵の設置地域においては成果が見られたが、近年のニホンジカ等の個体数の増加等が効果を上回ったため、市全体としては数値上の目標を達成できなかった。しかし、被害金額については、減少傾向にあるため、対策を講じた効果が徐々にではあるが現れていると推測され、今後減少するものと考えられる。よって、総合的に勘案して、概ね目標は達成したものと考えられる。今後も、住民主導による被害防止対策の確立を目指し、被害防止に向けた対策を進め、現状の改善を進めていただきたい。		
富士吉田市	富士吉田市	鳥獣被害防止施設 水稲 一般野菜 ニホンザル	被害面積 53a 被害金額 471千円 (柵の実施箇所) 被害面積 — 被害金額 —	被害面積 31a 被害金額 786千円	被害面積 0a 被害金額 0千円 (柵の実施箇所) 被害面積 0ha 被害金額 0千円	被害面積 37a 被害金額 329千円	被害面積 331% 被害金額 332%	今回の事業導入による柵については、被害対策上大きな効果があった。また、住民主体でサル追い隊の活動が行われたため、平成25年度におけるサル被害は無	鳥獣被害防止施設 電気柵増設(4段) L=1,499.5m	5,005,350	2,500,000		2,505,350	平成24年12月20日	柵の設置により有害獣の農用地への侵入が抑止、農作物の被害が軽減された。	目標年度(H25)における被害金額と被害面積の達成率は、それぞれ331%、332%と目標を達成し、事業の効果が充分現れていると考える。結果、目標年度(H25)の目標値における被害金額と被害面積の達成率は、70%を超えており、目標は概ね達成されたと考える。今後も、獣害対策に積極的に取り組んで、更なる被害軽減を図っていただきたい。		

都道府県平均達成率	107.69%	個々の事業実施主体では、一部目標に達していない項目があるものの、事業実施主体全体で見ると、個々の達成率の平均である都道府県平均達成率が100%以上となっており、県下全体では、概ね目標は達成していると考えられる。しかし、近年、シカを中心とした個体数の増加が深刻な問題となる中で、今後もより一層、獣害対策に積極的に取り組んで、更なる被害軽減を図っていく必要がある。
-----------	---------	--